

2025 年 10 月 1 日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 超音波内視鏡（EUS）ガイド下胆道ドレナージを踏まえた内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）における選択的胆管挿管のための段階的アルゴリズムの検討 」 への協力をお願い

消化器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2012 年 4 月 1 日～2022 年 12 月 31 日の間に、当科において、胆道疾患に対して内視鏡治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法：

胆道疾患における内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）では、選択的胆管挿管の成功が最も重要なファーストステップとなりますが、困難な症例も少なくありません。最近では、超音波内視鏡下胆道ドレナージ（EUS-BD）が登場し、EUS ガイド下にガイドワイヤーを留置したうえで、経乳頭的胆管挿管を行う EUS ガイド下ランデブー（EUS-RV）アプローチが、通常 ERCP での選択的胆管挿管困難例に対する有効な治療法として報告されています。我々は胆道疾患例に対する ERCP の選択的胆管挿管成功率と偶発症について評価します。

研究に用いる情報の項目：これらは全て日常診療で収集された項目です。

年齢・性別・ERCP適応疾患・解剖（通常もしくはBillroth I 法再建）
膵管造影の有無、乳頭処置、留置ステントの種類、胆道鏡使用の有無、
選択的胆管挿管成功率（通常法、ガイドワイヤー法、プレカット法、EUS-RV、全体）
偶発症発生率と内訳（通常法、ガイドワイヤー法、プレカット法、EUS-RV、全体）
ERCP後膵炎のリスク因子

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：

2025 年 10 月 8 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病

院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科

氏名：上村 真也

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科

電話番号：058-230-6308

氏名：丸田 明範

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp